

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2015年2月)

【適正使用】

Q: バイアスピリン™にプラビックス™が追加になった。服用後、手の甲に赤い斑点ができて10mm位に広がったので、1種類に減らしたら良くなってきたが、大丈夫か？(県民)

A: どちらも血栓をできにくくする薬で、出血傾向の可能性があるが、自分勝手に中止すると血栓の危険性がある。出血傾向を医師に相談する。

Q: アクトネル™75mg(月1回服用)を飲み忘れた時は、どうしたら良いか？(県民)

A: 飲み忘れに気付いた日の翌朝に1錠服用する。

【注意】飲み忘れに気付いた日が、次の服用予定日前の7日間であれば、飲み忘れ分を服用できない。飲み忘れて服用した場合でも、次の服用予定日はあらかじめ決めていた日のままである。

Q: 1年以上前にもらった使いかけのロコイド™クリームがある。湿疹でもらったと思うが、使って良いか？(県民)

A: 品質の保証はできない。また、今回の症状に適した薬か不明確のため、自己判断で使用しない。

【相互作用防止】

Q: アイミクス™LD、アザルフィジン™EN、ロキソプロフェンNa、シンバスタチン、レバミピドを服用中。風邪で一般用医薬品のベンザブロック™Lを飲んでも良いか？(県民)

A: 血圧上昇や降圧薬の作用減弱の可能性がある。また、ロキソプロフェンNaと解熱鎮痛作用が重複するので服用しない。

Q: パブロン™鼻炎カプセルSは、頭痛に効果がないので、エスタックイブ™と一緒に飲んで良いか？(県民)

A: パブロン™鼻炎カプセルSとエスタックイブ™のそれぞれの3種類の成分が、同効薬で重複するため併用しない。

Q: 一般用医薬品のアレグラ™FXと「乗り物酔い止めQD錠」を一緒に飲んで良いか？(県民)

A: 両薬剤とも抗ヒスタミン薬を含有するので、同時に服用しない。

【副作用防止】

Q：家族の者が禁煙治療で、青又はグレーのような楕円の薬を服用中。飲み始めてから興奮したりするが、副作用か？（県民）

A：治療薬はチャンピックス™（青色・楕円）の可能性がある。チャンピックス™は、基礎的な精神疾患を悪化させることがあり、不安、焦燥、興奮等が報告されている。禁煙治療の病院に早めに受診し、その症状を医師に伝える。

【妊婦・授乳婦】

Q：アスゾール™（250）を1回1錠、1日2回服用中。授乳して大丈夫か？（県民）

A：成分のメトロニダゾールは母乳中への移行が多いため注意が必要となる。授乳直後に服用または服用後4時間以降に授乳する。乳児の下痢に注意。

Q：ピダラピン軟膏3%の5ヶ月妊婦への使用は？（薬局）

A：有益性投与（i.vの動物実験で催奇形性の報告）で、ヒトでのデータはない。

先発品アラセナA軟膏のデータでは、健常男子に3%10g塗布した時の、血中濃度は検出限界以下で、ヒト健常皮膚からは極めて吸収されにくいとの報告がある。使用により催奇形性の危険が高くなるとは言えない。